ThreeBond

安全データシート

発行日 2021-12-15　　**改訂日** 2021-12-15　　**改定番号** 1

1: 化学品及び会社情報

製品名　ThreeBond 6905B

化学品の推奨用途及び使用上の制限
推奨用途　自動車整備用

安全データシートの供給者の詳細
供給者　スリーボンドファインケミカル株式会社
〒252-0146 神奈川県相模原市緑区大山町1-1

緊急連絡電話番号　042-703-7126 (SDSの内容に関するお問い合わせ)
0120-56-1456 (商品の技術、SDSの請求に関するお問い合わせ)

2: 危険有害性の要約

GHS - 分類

可燃性ガス	区分 1
高圧ガス	液化ガス
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	分類できない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉塵/ミスト	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響はない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性　短期(急性)	分類できない
水生環境有害性　長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語　危険
危険有害性情報
H220 - 極めて可燃性の高いガス
H280 - 高圧ガス: 熱すると爆発のおそれ

注意書き
安全対策
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

応急措置

漏えいした場合、着火源を除去すること 漏えい(洩)ガス火災の場合: 漏えいが安全に停止されない限り 消火しないこと
保管
換気の良い場所で保管すること。
日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。
廃棄
該当しない。

他の危険有害性

利用可能な情報はない。

3: 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

化学品の名称	CAS番号	濃度又は濃度範囲(%)	化審法番号	安衛法番号
2,3,3,3-テトラフルオロプロパ-1-エン	754-12-1	100	(2)-4136	2-(13)-258

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)
該当しない

労働安全衛生法
通知対象物質
該当しない

表示対象物質
該当しない

毒物及び劇物取締法
該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当しない

4: 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと。

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること。

飲み込んだ場合 水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 利用可能な情報はない。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5: 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 利用可能な情報はない。

特有の消火方法
大規模火災 水噴霧で容器を冷却すること。
警告: 消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 十分換気されているか確認すること。

緊急対応を行う者のための保護具 8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については12項を参照のこと。

封じ込め方法 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法 回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7: 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 『８．ばく露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

保管

安全な保管条件 保管温度範囲は、技術資料、納入仕様書、商品ラベル等を参照のこと。

8: ばく露防止及び保護措置

設備対策 シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度 該当しない。

生物学的職業性ばく露限界値 該当しない

環境ばく露防止 屋内作業場で使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置の設置等の対策をする。
取扱場所の近くに、安全シャワー，手洗い，洗顔装置を設け、その位置を明瞭に表示することが望ましい。

保護具

呼吸用保護具 【 換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 適切な保護手袋(ポリエチレン製，ゴム製等の不浸透性素材のもの)を着用すること。

眼、顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着の使用は避ける。

9: 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

形状	大気圧下 ガス状、圧力容器内 液状
色	無色
臭い	微臭

特性	**値**	**備考 ・方法**
融点・凝固点	データなし	
沸点、初留点及び沸騰範囲	-29.4 ° C	
引火性	データなし	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	ASTM E681-04	
可燃性又は爆発性の上限	12.3vol%	
燃焼又は爆発の下限	6.2vol%	
引火点	データなし	
自然発火点	405 ° C	
分解温度	データなし	
pH	データなし	
動粘性率	データなし	
粘度	データなし	
水への溶解度	水に難溶	
溶解度	データなし	
n ーオクタノール／水分配係数(log値)	2.15	
蒸気圧	6067 hPa (21.1 ° C) , 14203 hPa (54.4 ° C)	
相対ガス密度	4	
相対密度	データなし	
粒子特性		
粒径	データなし	
粒径分布	データなし	

10: 安定性及び反応性

安定性

静電気が発生すると引火爆発の危険性がある。４０℃以上になると破裂の恐れがある。

危険有害反応可能性

高圧ガスが入っている。加熱、衝撃などにより破裂する危険がある。車内で放出すると窒息及び酸欠の可能性があるので、使用後は十分に換気すること。換気に際して、周囲に着火源の無いことを確認すること。

避けるべき条件

加熱や着火源との接触を避ける, 直射日光, 保管時の高温, 静電気に対する予防措置を講ずること, 静電放電, 加熱, 容器の圧縮、切断、溶接、ろう付け、はんだ付け、ドリリング、研磨、熱源または引火源への暴露。

混触危険物質

酸化剤, 強酸化剤、強ルイス酸、強無機酸、強無機塩基、有機塩基、特に１、２級の脂肪族アミン, 微細金属粉末。

危険有害な分解生成物.

燃焼すると条件によって有害ガスが生成することがある, フッ化水素, 一酸化炭素, 二酸化炭素, ハロゲン化カルボニル化合物。

11: 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
2,3,3,3-テトラフルオロプロパ-1-エン	-	-	> 405800 ppm（Rat）4 h

略語及び頭文字

Rat: ラット

症状 利用可能な情報はない。

製品情報

経口 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

吸入 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

眼接触 この化学物質または混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性／刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 分類できない。

12: 環境影響情報

生態毒性 分類できない。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 利用可能な情報はない。

生体蓄積性 利用可能な情報はない。

土壌中の移動性 利用可能な情報はない。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 利用可能な情報はない。

13: 廃棄上の注意

残余廃棄物 国、都道府県、および市町村の規制に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに依託して処理する。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することはしてはならない。

汚染容器及び包装 使用済みの容器・ウエス等も、残余廃棄物と同様に処理する。

14: 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号	UN2037
品名(国連輸送名)	小型ガスボンベ(ガスを放出する装置がないものであって、再充てんができないものに限る。)
説明	UN2037, 小型ガスボンベ(ガスを放出する装置がないものであって、再充てんができないものに限る。), 2.1
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	2.1
海洋汚染物質	Np
EmS番号	F-D, S-U
特別条項	191, 277, 303, 344

ADR

UN/ID番号	UN2037
正式輸送品目名	小型ガスボンベ(ガスを放出する装置がないものであって、再充てんができないものに限る。)
説明	UN2037, 小型ガスボンベ(ガスを放出する装置がないものであって、再充てんができないものに限る。), 2.1, (E)
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	2.1
ERG コード	2P
特例規定	191, 303, 344

IATA

UN/ID番号	UN2037
正式輸送品目名	Gas cartridges
説明	UN2037, Gas cartridges, 2.1
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	2.1
特例規定	A167, A98, A802

国内規制

UN番号	UN2037
正式輸送品目名	小型ガスボンベ(ガスを放出する装置がないものであって、再充てんができないものに限る。)
説明	UN2037, 小型ガスボンベ(ガスを放出する装置がないものであって、再充てんができないものに限る。), 2.1
危険有害性クラス	2.1
特例規定	191, 344

15: 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)
該当しない
労働安全衛生法
該当しない
通知対象物質
該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない
火薬類取締法
該当しない
高圧ガス保安法
適用除外
但し、政令告示並びに一般高圧ガス保安規則に従う
消防法:
該当しない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当しない

船舶安全法
詳細については項目14を参照
航空法
詳細については項目14を参照

16: その他の情報

改訂日 2021-12-15

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキーまたは凡例
凡例 8. ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

主要参照文献とデータの出典
JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法。 JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)。
免責事項
このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

[会社情報]

販売者：熊本中央スズキ自動車販売(株)
所在地：熊本県熊本市北区飛田4-6-51
TEL:096-345-4102